



## 法藏院の龍

横須賀市津久井

京急津久井浜駅の海岸近くに浄土宗五劫山法藏院阿弥陀寺、通称法藏院があります。山門には元禄12年建立時の龍の彫刻がそのまま、荒れ狂う波間に龍を配し、その裏には梅と二羽の雉が彫られています。左甚五郎の作ともいわれ、伝説を残していました。時化の夜に房州に渡ると伝えられ、そのために龍の左眼には目打ちとして五寸釘が打たれているといわれています。ご住職の余郷有聰さんは「昭和63年に彫刻をはめて再建しました。今思えば、よく見ておけばよかったですねぇ」と苦笑します。鎌倉光明寺の末寺、11月8日、9日はお十夜が行われ、山門あたりにも夜店が並んでぎわいます。

おらが  
街  
角

# 法藏院の山門が取材され JA通信に掲載されました

2012.9.3



YOKOSUKA・HAYAMA  
**JA通信**  
地域とJAをつなぐコミュニケーションマガジン